

令和5年度 磐田市立磐田第一中学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善点等	学校関係者評価委員より	
<p>「誇り高く（自律）、心しなやかに（共生）、夢はぐくむ（自立）生徒の育成」を目指す教育活動の推進</p>	<p>(1) 一人一人の特性に応じたインクルーシブ教育システムの充実と組織的な対応・支援の展開</p> <p>(2) 学びを深める主体的、対話的で深い学びに向けた授業改善（Nスタイル）</p> <p>(3) コミュニティ・スクールを基盤としたなかいずみ学府小中一貫教育の推進</p> <p>(4) 保護者、地域への情報発信と、地域の教育力を生かした教育活動の推進</p>	1	・学校教育目標「誇り高く 心しなやかに 夢はぐくむ生徒の育成」を意識して教育活動に取り組んでいる。（教師）	A	<p>「目指す子どもの姿の共通理解」 分析項目1 教師 100% 項目2 教師 100%</p> <p>○学校で目指している子どもの姿や教育内容について、職員間で共通理解を図りながら教育活動に取り組むことができた。保護者、地域住民が学校の教育活動を直接目にする機会も徐々に増えてきた。 ※今後も授業参観、学校行事、学校・学年・学級日より、ホームページ等を有効活用しながら、学校の教育活動の情報を保護者の方や地域の方に広く伝えていきたい。</p> <p>「生徒の心に寄り添う生徒指導」 分析項目3 教師 97% 項目4 教師 97% 項目5 生徒 92% 項目6 保護者 90%</p> <p>○今年度も「学校を楽しみ」と考えている生徒が9割を超えており、大多数の生徒にとって学校が安心・安全な場であることが分かる。 ※生徒に寄り添う生徒指導の継続、学府で取り組んでいるレジリエンスを高める取組をさらに推進していきたい。</p> <p>「学びを深める授業改善」 分析項目7 教師 94% 項目8 生徒 90% 項目9 生徒 89%</p> <p>○校内研修テーマを意識した授業改善が進みつつあるが、道半ばである。 ※NスタイルやICT機器の効果的な活用等を通して個に応じた支援の充実をさらに図っていきたい。</p> <p>「小中一貫教育の推進」 分析項目10 生徒 88% 保護者 76% 教師 62% 項目11 生徒 84% 項目12 保護者 97%</p> <p>○小中一貫教育のよさを実感しながら学府の取組が進められているが、学府で取り組んでいる気持ちのよいあいさつには、生徒・教師・保護者ともに課題が残った。 ※生徒会が主体となった取組やPTAあいさつ運動などを通して気持ちのよいあいさつが溢れる学校を今後も目指していきたい。</p>	○一中の先生や生徒が目指す目標を達成するための教育活動に地域も協力していきたい。校則の見直しに向けて中学生が学校運営協議会に参加することはすばらしい取組。生徒会長が学校運営協議会で発言する姿、頼もしい。自分から周りの人とつながりを持つことは大切。持続可能な社会の作り手として一中生には期待している。進取の気質に富んだ一中の伝統を大切にしてくれることを期待している。
		2	・目指す資質・能力である「自律」「共生」「自立」を育成している。（教師）	A		
		3	・本校の生徒指導方針を受け、問題を抱える生徒や保護者に適切に関わろうとしている。（教師）	A		
		4	・レジリエンスを高める取組を行うことができた。（教師）	A		
		5	・学校では、楽しく生活しています。（生徒・保護者）	A		
		6	・教師は、子どものことについての相談に適切に応じている。（保護者）	A		
		7	・主体的に考える生徒の育成に向けて、対話型学習（Nスタイル）や課題解決型の授業を意識して、授業改善を進めることができた。（教師）	B		
		8	・先生は分かりやすく教えてくれる。（生徒）	A		
		9	・学んでいることが自分の力として身につけている。（生徒）	B		
		10	・進んで気持ちの良いあいさつをしている。（生徒、保護者、教師）	C		
		11	・学府の他校の先生や友達との交流することのよさを感じている。（生徒）	B		
		12	・学校は、保護者や地域の方の協力を得て教育活動を進めている。（保護者）	A		

重点	目標・取組	評価指標			自己評価	考察・改善点等	学校関係者評価委員より	
自律	自ら考え、判断して行動する生徒の育成	13	・授業でじっくり考えたり表現したりしている。 (91%)	生徒	89.5%	B	○「授業でじっくり考えたり表現したりしている」の項目については、教師の評価が昨年度より改善し、生徒の評価も数値目標に近づいた。 ※授業において思考を深めたり互いに学んだりする場面を意図的に設定していきたい。 ○自ら考え、正しく判断して行動する力を育むための「家庭学習」に関する項目については、特に、保護者の評価が課題となった。 ※本校の生徒信条の一つに「私は知識を磨くため、自主的に学習する生徒になります」とある。自ら学ぼうとする姿勢は本校が大切にしているものである。授業とリンクした段階的な家庭学習の提示、自分で選んで苦手分野に取り組む家庭学習、興味・関心に応じた発展的な家庭学習など家庭学習の個別最適化について研修していきたい。	○学校評価の保護者の数値が低いのは、一中の取組や生徒の活躍が十分に保護者や地域に届いていないからだと思う。今年度は、コロナ禍を乗り越えて「赤ちゃん登校日」など地域と学校が一体となった行事を行うことができた。来年度は、さらに保護者や地域住民が学校の教育活動を支えていきたい。
				保護者	未実施			
				教師	91.2%			
		14	・家庭学習の習慣が身についている。 (65%)	生徒	75.1%	B		
				保護者	63.5%			
				教師	88.2%			
共生	多様な個性を受容し、協働して協課題を解決する生徒の育成	15	・相手の気持ちを考えた温かな言葉遣いをしている。 (93%)	生徒	89.9%	B	○中泉交流センターとしては、吹奏楽部、美術部、バレー部との交流、とてもありがたい。また、地区のお祭りの最終日に一中生が道路のゴミ拾いをしている姿を見た。校内だけでなく地域の中でも協力して自発的に行動している姿は、素晴らしい。 ○合唱コンクールを参観したが、順位をつけるのがもったいないくらいの合唱を聴くことができた。吹奏楽部の演奏は鳥肌が立つほどすばらしかった。子どものがんばりと共に先生方の指導のよさを感じることができた。行事に燃える一中生の姿に感動した。吹奏楽部の演奏は合唱コンクールはもちろんだが、地域行事での演奏も好評だったので来年度以降も続けてほしい。	
				保護者	85.1%			
				教師	79.4%			
		16	・学校行事や生徒会活動に集中して取り組んでいる。 (96%)	生徒	96.1%	A		
				保護者	92.4%			
				教師	100.0%			
自立	夢（こころざし）の実現に向けて粘り強く取り組む生徒の育成	17	・目標に向かって粘り強く取り組んでいる。 (92%)	生徒	87.2%	B	○目標に向けての粘り強い取組については、生徒と比べ保護者、教師の評価が大幅に低い。 ※目的意識を持ち地道に取り組む必然性がある活動を意図的に設定することが必要である。特別活動や総合的な学習の時間を中心に現在と未来をつなぐキャリア教育の充実を地域・保護者の力を借りながら図りたい。 ○将来の夢や希望を持っているかについては、生徒、保護者、教師共に目標値を上回ったが、生徒の肯定率が教師、保護者と比較すると低い。 ※今後も日々の教育活動におけるキャリア教育と共に「職場体験学習」や「上級学校訪問」「ようこそまちなか先生」「進路学習会」などを通して生徒が自分の将来について考える機会を設けたい。	○何事もすべてが勉強、学びにつながっている。今、チャレンジしたことは、将来につながる経験になる。今後も生徒が自らチャレンジするような教育活動を期待している。
				保護者	76.9%			
				教師	76.5%			
		18	・将来の夢や目標を持っている。 (70%)	生徒	73.7%	A		
				保護者	83.6%			
				教師	88.0%			

学校関係者評価を受けてのまとめ

コロナ禍を乗り越えて平時の教育活動が戻りつつある。コミュニティ・スクールの利点を生かし保護者・地域住民を学校の教育活動に巻き込むことで信頼関係を深め、学校運営の改善やなかいずみ学府として取り組んでいる「誇り」高く「心」しなやかに「夢」はぐくむ子どもの育成をさらに推進していきたい。また、その中で、生徒の心に寄り添い、きめ細やかな、温かみのある生徒指導、主体的に考え協働して課題を解決する生徒の育成を意識した授業改善の継続と共に生徒が主体となって取り組む特別活動の充実に努めたい。